

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 22.5.21 第 174 回国会第 16 号

5 月 21 日（金）第 16 回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・菅財務大臣、亀井国務大臣（金融担当）、大塚内閣府副大臣、野田財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小山 展 弘君（民主）

- ・我が国の金融セクターの今後のあり方について、亀井金融担当大臣の見解を伺いたい。
- ・ゆうちょ銀行が赤字となった場合の経営の持続可能性について伺いたい。
- ・ゆうちょ銀行に対する金融庁の検査・監督等において、小規模郵便局はどのように扱われるか。
- ・行政刷新会議に設置された規制改革分科会の下にある農業ワーキンググループに関し、メンバーの選定基準及び議論の内容等について大塚内閣府副大臣に伺いたい。

福嶋 健一郎君（民主）

- ・菅財務大臣に、口蹄疫の問題に対し財政面でどのような対策を取るのか、またこの問題解決に向けた決意を伺いたい。
- ・口蹄疫で被害を受けた農家に対し、金融面ではどのような対策を行ったか。また今後どのような対策を検討しているか。
- ・中小企業金融円滑化法施行以後の返済猶予実績について伺いたい。

竹本 直 一君（自民）

- ・今後の財政運営及び消費税率引上げの可能性について、菅財務大臣の見解を伺いたい。
- ・直嶋経済産業大臣が来年度に法人税率を 5 % 程度引き下げたいと発言したが、その程度の減税で輸出振興になると考えるか。
- ・日本航空が、日本政策投資銀行から融資を受けつつ他の航空会社と価格競争を行うのは、公平性を損なっているのではないか。
- ・日本企業が海外のインフラ事業を受注していくためには、どのような施策を講ずるべきか、菅財務大臣に伺いたい。

徳田 毅君（自民）

- ・口蹄疫の被害農家・関係農家及び被害地域に対する財政支援の実施方法と規模について伺いたい。
- ・菅財務大臣は、いわゆる財政健全化法の提出に意欲を見せていたと思うが、現時点では、どのような手段で財政健全化の方向性を打ち出そうと意図しているか。
- ・菅財務大臣は、昨夏の衆院選マニフェストの実現と財政健全化とはどちらの優先度が高いと考えているか。また、民主党内の財政健全化に対する危機意識が欠如していることについて、見解を伺いたい。

石井 啓 一君（公明）

- ・来年度の新規国債発行額を今年度の発行額（44.3 兆円）以下に抑える旨の菅財務大臣の発言は、政府内の意見調整を経たものか。
- ・来年度の予算編成に当たり、歳出増・歳入減の見直しにどう対処するのか。歳出面では衆院選マニフェストの見直しが必然ではないか。また、歳入面では、いわゆる「禁じ手」を使う可能性が感じられるが、それは適切ではないのではないか。
- ・昨今報じられている菅財務大臣の「増税で経済成長」発言の真意を伺いたい。また、消費税増税の検討については早期に始める可能性があるということか。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・中小企業金融円滑化法における、中小企業に対するコンサルタント機能は、一般の金融機関だけでなく政策金融機関にも同様に求められていると思うが、政府はこの点について十分に徹底を図っているか。
- ・日本政策金融公庫では、当該コンサルタント機能についてどのように指導しているか。現場では、企業からの条件変更等の相談に対し、不誠実な対応事例があると聞くと、同公庫総裁はこの点についてどう考えるか。総裁が実態を承知していないのであれば、調査の上、是正する必要があると思うがどうか。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。
詳細な内容については会議録を御参照ください。